

今世を選んで生まれ  
たあなたへ | 古い魂  
たちのミッションー  
転生を選んだあなた  
の役割とは？

「わたし」が生きる意味がわかるワンネ  
スの教科書 購入特典

©一般社団法人国際生命意識協会 叶礼美

「わたし」が生きる意味がわかるワネスの教科書をご購入くださり、特典をお読みくださりありがとうございます。この特典は、タイトルが示すとおり、古い魂の方達へ向けて書かれています。というのも、そもそも本書を手にとってくださる方の多くは古い魂の方々であろうからです。

人生の意味とは何なのか、生きる目的とはといった抽象的なテーマや、なぜ世界はこうなのか、なにが出来るだろうか、などと、他者や世界へ意識がむかうことじたいが、古い魂の特徴であるのです。

古い魂とは、なんでしょうか。本書の第3章で詳しく解説していますが、進化段階は若い魂から非常に古い魂まで大きく分けて7段階あります。そのちょうど中間地点「4段階目・成熟の魂」では、「物質的な社会での成功や達成」が重要なテーマとなります。そしてその次の「5段階目・老年の魂」では、それまで重きが置かれていた物質的な達成というテーマを超えて、「精神的・霊的成長」へ向かいはじめるのです。

## 古い魂の特徴－あなたやご家族、周りの人に当てはまりますか？

ここで、古い魂の特徴をいくつか挙げてみましょう。転生の回数が多く、経験を積んでいることから、より波動はマイルドで穏やかに洗練されていきます。優しく思いやり深くなっていきますが、より敏感になるので、周囲の否定的で荒い感情や、暴力的な出来事などの影響を受けやすくなる傾向もあります。苦勞はありますが、しかし古い魂はそのような困難にたいして、そのままではいることはありません。過去世からの経験や霊的な知恵から、対処するスキルや方法を引き出し、困難を乗り越えていきます。そうして今世体験するさまざまな課題や困難にたいし、知恵や経験を引き出しながら対処しながら、経験を積み、心身魂が磨かれていきます。古い魂は、自我を超えて、真

の自己、他者や世界へ関心がむいていく段階となり、競争や勝負よりも協力や共生や調和の世界を目指します。ひとことかというと、よりよい世界へ献身しようとする人々です。

## 古い魂の役割・目的とは

大きく分けて7段階のちょうど中間地点、4番目にあたる成熟の魂は、より物質的で具体的な目的をもつ傾向があります。たとえば、俳優になる、歌手になる、人気を得る、成功する、社会的地位を得る、財産を築く、など。言葉をかえれば、現世的な目的をもち達成することで、自己の重要性を確立することが大切な段階です。5番目の老年の魂の年齢では、その段階を過ぎ、転生のテーマ・目的はより精神的で抽象的なそれへと変化していきます。たとえば、同じく歌手になるのだとしても、その動機が変化して、歌手になることでステイタスや富を得たい、承認されたい、尊敬されたいなど自己重要性にむいていた意識が、「癒したい」「喜んでもらいたい」「人を幸せにしたい」といったふうに変化していきます。老年の魂の目的は、成熟の魂と比べるとより抽象度を増していきます。であるから、「人生の(具体的な)目的を見つけるのが難しい」ということが起き、また「野心的でない」「ガッツがない」「弱く」見えるといったことが起きるのです。日本の学校ではよく「大きくなったら何になりたいか(野球選手？ 医者？ 弁護士？ パティシエ？)」と聞かれ、具体的な目標をもっていることが期待されます。

けれども「どんなふうに生きたいか」「どのように世界をよくしたいか」「どんな価値を世界に与えたいか」と問われることはあまりないでしょう。具体的な目標や目的がなかなかみつからない、という点はまさに老年の魂の特徴でもあるのです。その場合、質問の角度を変えてみるとよいでしょう。次のページにいくつか質問があります。ぜひワークをしてみてくださいね。

## 古い魂の人生テーマ・レッスンは、より抽象的に

老年の魂の人々の人生のテーマ・目的は、抽象度合を深めていくということをお話してきました。異なる進化段階の人々が集う地上は、だれにとっても、格好のトレーニングフィールドであり学校であると言えます。困難が大きければ、成長のチャンスもそれだけ大きくなります。暴力や虐待が起きる。争いや、戦争が起きる。土地や、空気や、食糧が汚染される。病気になる。教育が不足する。…これは、どこか知らないところで起きていることではなく、わたしたちが生きているいまの世界そのものですね。

そして、問題へのさまざまな取組みかたがあります。教える、ケアする、愛する、導く、仕える、鼓舞する、楽しませる、戦う、正す、調べる、分析する… これらの「動詞」は、あなたが心から喜びを感じることを、そしてあなたの今世の使命や役割へと向かうためのヒントです。さてここで、ご自身の今世の目的を探るきっかけを得るために、ミニワークを試みましょう。

- 1, この世界のなかで何に対して、痛み、悲しみ、怒りを感じますか？
- 2, この世界のなかでどんなことに、喜び、楽しみ、愛しさを感じますか？
- 3, どんなテーマや問題に関心がありますか。何について深めたいですか？
- 4, 取り組みたいと思っていることで、まだ取り組んでいないことは、何ですか？
- 5, 世界がどのようなことを願いますか？それについて何をし(てい)ますか？
- 6, あなたの行動、前進を妨げているものがありますか？それは何ですか？

これらの質問に、ひとつひとつ答えてみましょう。すると、そこにはあなたの目的、あなたの課題、あなたの役割に関わるたくさんのヒントが発見できるでしょう。本書の第4章にも実践ワークを載せていますので、併せて書き出してみてくださいね。

よりよい人生を生きるため、幸せになるための行動をつうじて、人は成長していきます。それはどの段階にあっても共通です。ですが、いつかだれもが人生を終えるときがきます。靈魂が成長するために、肉体の生を生きるのだ、と古代ギリシャの哲人ソクラテスは、言いました。私たちがこの人生の最期を迎え、肉体から抜け出て今生を振り返るとき。魂の成長の体験と感動をいっぱい携えて、力を尽くした一生を祝いながら、地上を去るでしょう。

## 古い魂の役割は、自己の本質に目覚め、生きること

古代ギリシャ時代の知者ソクラテスが訪れた神殿に刻まれていたメッセージ「汝自身を知れ」とあるように、古い魂の成長は、自分を知ることから始まります。自分を知るためには、まず二つの自己があることを留意するとよいでしょう。

ひとつは、人格的な自己です。まず今世、ご自分がどのような体験をし、どのような信念を形成し、どのように生きてきたのかを、改めて振り返ってみましょう。自分の歴史を振り返るだけでも、人格的自己の大部分が明らかになります。

もうひとつは、靈的な自己、つまり本質の自己です。人は、人格的な自己のみでなく、本質的な、靈的な自己があるということを受け止めてみましょう。靈魂としてのあなたは、どのような存在なのか、どのような歴史を経てきたのか。それぞれ探究していきましょう。これが本当の意味の「汝自身を知れ」の意味です。

## 本質の自己に目覚めるとは

本質に目覚めて生きるということは、霊魂であるところの自己の本質に気づくことです。なぜ、なにををするために、今世やってきたのか。今世の目的とは何なのか。今世の目的へ取り組むために、だれもが過去世で培ったさまざまな資質、経験、才能を携えて生まれてきます。それらに気づき、開発していくと、活用していくことができます。もちろん気づかずとも活用している方も多いです。けれど、こうした潜在能力を自覚的に開花させることで、真の自己のもつポテンシャルを存分に発揮して生きることができのです。いずれにしても古い魂の役割は、肉体(物質的)を超えた霊的存在である自らの本質に気づき、それを生きることによって人類の意識と地上の文明に変化をもたらすこと、といえます。

第五章でお話しているように、その変化のもたらしかた、内容は、それぞれ異なります。とても壮大な話に聞こえるかもしれませんが、これは一人でやることではなく、最近始まったことでもありません。何千年、何万年も続く、進化の大きな流れを上昇してきて、いまここにいるのですね。書籍のなかでも繰り返し言及していますが、あなたもわたしも、わざわざこの時代を選んで生まれてきた勇者であり、勇者です。この混沌とした世界のなかで、地に足をつけて、まっすぐに存在の本質といまの時代を捉え、危機や困難の局面を成長と進化の起点としていきましょう。

今世を十全に生き、終わりをむかえたときには「やれることをやりきった、よくやった」と笑顔でこの地上を後にしたいですね。ここまでお読みいただけて、嬉しく、光栄に思っております。ワンネスのバイブレーションのなかであなたとつながることができたご縁に、感謝いたします。

一般社団法人国際生命意識協会 代表理事

カリフォルニア州政府認可 ワンネスインスティテュート 代表

叶礼美

THE BOOK OF ONENESS

「わたし」が生きる意味がわかる  
ワンネスの教科書

ビジネス社

霊性教育家 叶礼美

「わたし」が生きる意味がわかる  
ワンネスの教科書  
叶礼美

帯津良一氏推薦!

購入特典 | 古い魂たちのミッション—  
転生を選んだあなたの役割とは？

「わたし」が生きる意味がわかるワンネスの教科書 | 叶礼美著